

シルバーメタリック素材の感性品質における色彩効果<2> ーアジア向け感性品質の結果比較ー

110425229 永田智久
川澄研究室

1. はじめに

近年、工業製品に対する市場ニーズの多様化に伴い、機能性に加えて、人間の感性的なニーズに対応した製品開発が求められている。本研究ではシルバーメタリック製品の色彩と感性品質との関係について調べている。前報<1>までは、日本人が重視する4つの感性品質(“clean/pure” “relaxing” “high-quality” “stylish”)を対象に研究を進めてきた。しかし、別の調査で、日本人は重視していないが他のアジア諸国で注目されている感性品質の存在も明らかになった。本報では、日本以外のアジアで関心の高い“modern” “creative”を対象に調査した結果を報告する。

2. 評価用語の選定

表1に、タイと日本で重視される感性品質の調査結果を示す。今回は、アジアで関心の高い“modern”および“creative”を取り上げる。また、“modern”の対義語である“classic”，日本で上位にありながら前回は調査の対象から外した“simple”についても調査することにした。

表1 重視する感性品質

タイ 333名		日本 444名	
fine-quality	70	上質な	50
clean	57	清潔な	41
comforting	46	シンプルな	41
modern	46	スタイリッシュな	39
high-quality	38	スマートな	37
creative	34	落ち着いた	34
smart	34	高級な	34
classic	33	上品な	34
beautiful	32	美しい	33
refined	31	カッコイイ	29
luxurious	31	ナチュラルな	21
fashionable	31	シックな	20
advanced	29	先進的な	17
stylish	29	深みのある	14
simple	28	本物らしい	14
innovative	28	重厚な	14
cool	24	モダンな	13
∴	(%)	∴	(%)

3. 調査・解析方法

回答に協力を得たのは、日本人169名/タイ人121名である。前報<1>と同じ調査方法で、それぞれに母語で回答してもらった。データ解析には、自由度9の X^2 検定($p>0.05$, $|r|>1.96$)を用いた。

4. 結果

図1は、日タイ合計290人の10色相に対する得票率のグラフを感性品質ごとに示したものである。縦軸は得票率、横軸はマンセル色相を示している。調査は7種のシルバーメタリック製品を対象に実施したが、 X^2 検定の結果、同一とみなされたので平均値のみを示している。

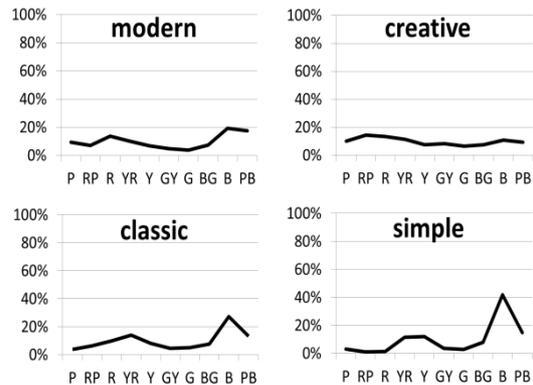


図1 各形容詞における平均得票率

図から、まず、“creative”に対しては票に偏りがなく、色相による効果が小さいことがわかった。このことから“creative”の感性品質の向上には、色相以外の要素(形や材質など)が効果をもつことが考えられる。また、表2に示す X^2 検定の残差分析結果から、“modern”はR, PB, “classic”はYR, Bでそれぞれの感覚が引き立てられることもわかった。さらに、日本人が重視する“simple”は、Bで最大になる。青味があったシルバーメタリック色は、最も一般的なメタリック色であるため、直感とも合致した結果が得られた。

表2 残差分析による検定結果

	modern	classic		modern	simple
P	1.68	-1.68	P	1.91	-2.67
RP	0.21	-0.21	RP	2.34	-3.27
R	0.86	-0.86	R	3.42	-4.78
YR	-0.85	0.85	YR	-0.28	0.40
Y	-0.41	0.41	Y	-1.18	1.65
GY	0.13	-0.13	GY	0.38	-0.54
G	-0.44	0.44	G	0.39	-0.55
BG	-0.07	0.07	BG	-0.14	0.19
B	-1.28	1.28	B	-2.81	3.93
PB	0.84	-0.84	PB	0.48	-0.67

5. まとめ

今回の調査で、“simple”のように色相に明確な特徴が見られる感性品質もあれば、“creative”のように色相による効果を受けにくい感性品質も存在することがわかった。また、“modern”-“classic”は対義語関係にあるが、共通の色相が支持されることがわかった。

参考文献

[1]Mikiko Kawasumi, et al : A study on silver metallic color preference, Association Internationale de la Couleur 2015 TOKYO, pp.735-739, 2015